

別記様式第11

平成22年度地域木造住宅市場活性化推進事業費補助金成果報告書

1. 事業名

「クラウド型ネットワークを活用した工務店支援基盤整備に関する事業」

2. 事業実施期間

平成 22年 6月 ～ 平成 23年 2月 28日

3. 事業主体

静岡県浜松市浜北区染地台 1-39-21
天竜・無垢の木・ひのきの家 普及促進協議会

4. 事業の成果

1. 事業の成果

○クラウド型情報プラットフォームの構築

本事業では、地域工務店による国産材住宅の販売促進を目的として、天竜・無垢の木・ひのきの家協議会の会員が気軽に利用できる Web プラットフォームを構築した。このデータベースはひのきの家棟梁会ホームページから会員が容易に利用できる。また、ユーザーマニュアルおよび管理者マニュアルを作成した。これらは技術マニュアルと同様に当該 Web 上からも閲覧できる（別添資料参照）。

上記情報基盤を前年の同事業で建設した国産ひのき材モデルハウスに設置し、業務サーバーをモデルハウス事務所内に設置し工務店支援窓口が管理することとした。現在、既にテスト運用を開始しており、4月1日より大工・棟梁の情報利用を推進する目的で、段階的に利用講習会を含めたデータベース利用サポートを提供する。



クラウドトップページ



利用マニュアル



棟梁の共同モデルハウス

○販促基本データの作成

会員が利用しやすい販促ツールとして、①標準プラン、②坪数方位別プラン検索ツール、③初期提案図作成フォーム、④代表プラン積算データ、⑤販促物枠フォーム作成ツール、⑥広告用写真、⑦ひのきの家共通ブランドロゴなどを作成し、上記データベースから利用できるようにした。また、⑧ひのき内装部材の商品情報ファイルを写真付で作成した。(別添資料参照)



方位別プラン検索画面



ヒノキ部材紹介ページ

今後の事業として、上記を再デザインして一般に公開し、Web上の「電子買い物カゴ」からの、「ひのき関連建材」のダイレクト販売を模索中である。

○顧客データベースの作成

長期優良住宅への対応と住宅履歴管理を念頭において、見込み客管理から建築中状況管理、アフターサービスにまで利用できる顧客管理ソフトを作成し、上記の情報プラットフォームに組み込んだ。(別添資料参照)



顧客データベース



顧客フィルター

○商品ホームページの開設

前事業で製作した、棟梁会ホームページ (www.hinokinoie.com) とは別に、良質ひのき住宅を一般消費者向けにアピールするための商品ホームページ (www.shizennoie.com) を製作した。

こちらは、主に一般消費者への商品情報の提供とブランディングの促進を目的としている。二つのホームページの相乗効果およびSEO対策で、検索エンジンのヒット率の早期向上を達成した。現在、ホームページよりのモデルハウス来訪を月ベースで5組程度確保し、通算3棟の契約に至っている。



棟梁会ホームページ



商品ホームページ

○積極的な情報公開・交流

モデル建設段階から継続して、活動内容を積極的に Web に公開している（WWW.hinokinoie.com）
 また棟梁会勉強会、営業技術セミナーを隔月で開催した。また、9月26日には静岡県知事主催の「富士の国芸術回廊」イベントにパネリストとして招かれ、活動内容の紹介講演を行った。（資料別添）



知事イベント講演



棟梁会勉強会

その他、10月17日に松下政経塾との共同イベント（KIZARA プロジェクト）の企画運営、静岡県立林業大学の学生見学の受け入れ、住まい教室、カルチャー講座をはじめ、モデルハウスを基点に多岐に渡る事業を行ない地域産材消費拡大、国産ひのき材住宅の認知普及に努めた。（詳細は HP 過去記事より検索可）
 加えて、このモデルハウスは中国、台湾、韓国、モンゴルなど海外来訪客も多く、ひのき最終製品のショールーム機能として、2月末の韓国「京郷ハウジングフェア」での天竜材原木輸出（契約）をはじめ、中国青海での住宅構造材（商談中）など商機を創造している。 以上



会員工務店による住まい教室



地元材活用の木皿イベント



ハウスカルチャー教室